

とくべつてん
特別展

こだい

古代メキシコ
マヤ アステカ
テオティワカン

2024
2.6火・5.6月

＜振休＞
MON

国立国際美術館
THE NATIONAL MUSEUM OF ART, OSAKA

★中学生以下は観覧無料です★
NHK
ジュニアガイド

開催概要

特別展「古代メキシコーマヤ、アステカ、テオティワカン」
会期：2024年2月6日（火）～5月6日（月・振休）
開館時間：午前10時～午後5時 ※毎週金・土曜日は午後8時まで ※入場は閉館の30分前まで
休館日：月曜日 ※ただし、2月12日（月・振休）、4月29日（月・祝）、5月6日（月・振休）は開館し、2月13日（火）は休館
主催：国立国際美術館、NHK大阪放送局、NHKエンタープライズ近畿、朝日新聞社
協賛：NISSHA
協力：アエロメヒコ航空、ダイキン工業現代美術振興財団
後援：メキシコ大使館
企画協力：メキシコ文化省、メキシコ国立人類学歴史研究所
お問合せ：国立国際美術館 06-6447-4680
展覧会公式サイト <https://mexico2023.exhibit.jp/>
展覧会公式X @mexico2023_24

びじゅつかん
美術館でのルール

- ゆっくり歩いて静かに見よう。
- 作品やケースにはさわらず目で楽しもう。
- 館内でメモを取る時は鉛筆を使おう。

展覧会
公式サイト▼

観覧料(税込)	一般	大学生	高校生
当日	2,100円	1,300円	900円
団体	1,900円	1,100円	700円

こどもまんなか
NMAOファミリー★デー！

3月25日（月）午前10時～午後3時（入場は2時30分まで）
赤ちゃん、お子さん連れのみなさんに気兼ねなく展覧会をご覧いただけるよう、
中学生以下のお子さんとその保護者のみ入場できる特別な日を設けます。
※保護者（高校生以上）は通常の観覧券が必要。中学生以下無料。

- マヤ文明●
赤の女王のマスク・首飾り / 7世紀後半 / アルベルト・ルス・ルイエ バレンケ遺跡博物館
©Secretaria de Cultura-INAH-MEX, Foto: Michel Zabé
球技をする人の土偶 / 600～950年 / メキシコ国立人類学博物館
©Secretaria de Cultura-INAH-MEX, Archivo Digital de las Colecciones del Museo Nacional de Antropología, INAH-CANON
猿の神とカカオの土器蓋 / 600～950年 / トニナ遺跡博物館
©Secretaria de Cultura-INAH-MEX, Foto: Ignacio Guevara
 - アステカ文明●
鷹の戰士像 / 1469～86年 / テンプロ・マヨール博物館
©Secretaria de Cultura-INAH-MEX, Museo del Templo Mayor
トラロク神の像 / 1440～69年 / テンプロ・マヨール博物館
©Secretaria de Cultura-INAH-MEX, Foto: NHK Promotions
耳飾り / 1486～1502年 / テンプロ・マヨール博物館
©Secretaria de Cultura-INAH-MEX, Foto: NHK Promotions
 - テオティワカン文明●
死のディスク石彫 / 300～550年 / メキシコ国立人類学博物館
©Secretaria de Cultura-INAH-MEX, Archivo Digital de las Colecciones del Museo Nacional de Antropología, INAH-CANON
鷹の神の壁画 / 350～550年 / メキシコ国立人類学博物館
©Secretaria de Cultura-INAH-MEX, Archivo Digital de las Colecciones del Museo Nacional de Antropología, INAH-CANON
鳥形土器 / 250～550年 / メキシコ国立人類学博物館
©Secretaria de Cultura-INAH-MEX, Archivo Digital de las Colecciones del Museo Nacional de Antropología, INAH-CANON

★このジュニアガイドは特別展「古代メキシコーマヤ、アステカ、テオティワカン」の鑑賞の手引きとして小学生から中学生を対象に作成しました★

こだい
古代
メキシコを
読み解く！

4つのキーワード

1

トウモロコシ
メキシコをはじめ中南米では9千年ほど前から栽培が
はじまりました。今でもトルティーヤなど、メキシコの
主食になっています。

2

天体と暦
雨季と乾季があるメキシコでは農業のために正確な
カレンダーが必要でした。そのため月や星を観測する技術
が発達しました。

3

球技
ゴムボールを腰で打ち合う競技が盛んで多くの遺跡から
球技場がみつかっています。儀式として王様どうしが
競うこともありました。

4

人身供犠
古代メキシコではあらゆる命は他の命の犠牲によって
成りたつと考えられていました。そのため、動物だけでなく
時には人も生けにえとして神様にささげられました。

いまでも続くメキシコ文化

11月の
死者の祭りを
彩るお花

つばの広い帽子
強い日差しから頭を守る

伝統的な
トウモロコシを
使った料理

乾燥地の植物
食用は
ステーキにも

マリーゴールド

ソンブレロ

タコス

サボテン

Design : thom sanuo (Overlaid) / Illustration : Yukino kayahara

古代メキシコ3大文明

メキシコは日本の5倍の広さがあり、地域によって自然環境が大きく異なります。
西の涼しく乾燥した中央高原ではテオティワカン文明とアステカ文明が、
東の暖かく雨の多いマヤ低地ではマヤ文明が栄えました。
それぞれの気候や風土のなかで、個性ゆたかな作品が生み出されました。

こ だい

ねん びょう

古代メキシコ年表

てん らん かい

こ だい

この展覧会では、古代メキシコで栄えた文明のうち

さか

ぶん めい

と

あ

テオティワカン、マヤ、アステカの3つを取り上げます。

じだいく おん

時代区分

2000

せん こてん き

先古典期

BC

AD

250

こてん き

古典期

950

こう こてん き

後古典期

1521

しよくみんち

じだい

スペイン植民地時代

メキシコ

わん がん ぶ

湾岸部

オルメカ

前1500

～前400

メキシコ

ちゅうおう こうげん

中央高原

テオティワカン

前100

～550

トルテカ

800

～1150

アステカ

1325

～1521

マヤ低地

マヤ

前1200

～1697

にほん じだい

日本の時代

じょうもん

縄文

やふい

弥生

こ ぶん

古墳

あすか

なら

へいあん

飛鳥/奈良/平安

かまくら

なんぼくちやう

むろまち

あづちももやま

え ど

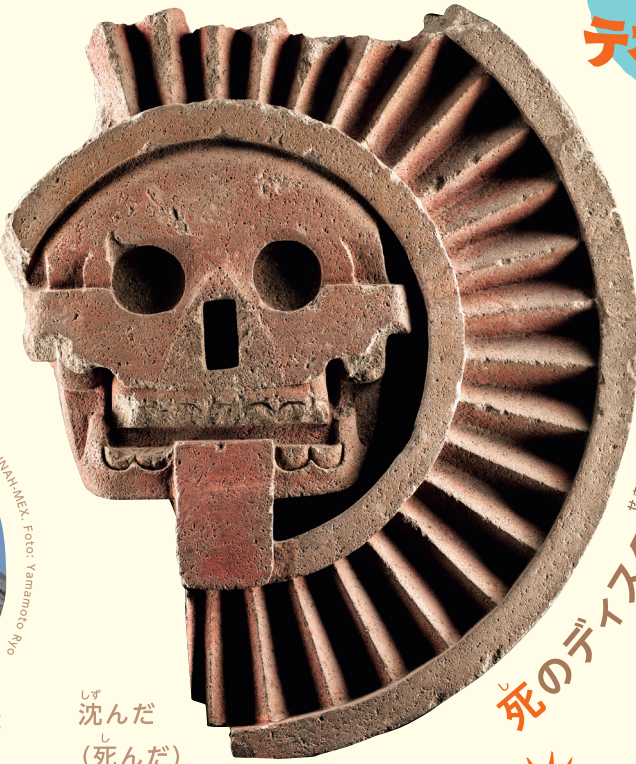
鎌倉/南北朝/室町/安土桃山/江戸

それぞれの文明が日本のどの時代のころにあったのか比べてみよう！

嵐の神の壁画



テオティワカンの建物にはカラフルな絵がたくさん



沈んだ(死んだ)太陽を示す彫刻 日の出で復活！

メキシコ湾岸で最初の文明、オルメカがはじまったんだ！



ベビーフェイスの石偶(オルメカ)



鳥形土器



貴重な貝の飾りをたくさん使ったたくさんない入れもの

トラロク神の面



丸い目とキバが特徴の嵐の神様は実りの雨をもたらした



猿の神とカカオの土器



カカオは飲みものの材料のほかお金としても使われた高級品

球技をする人の土偶



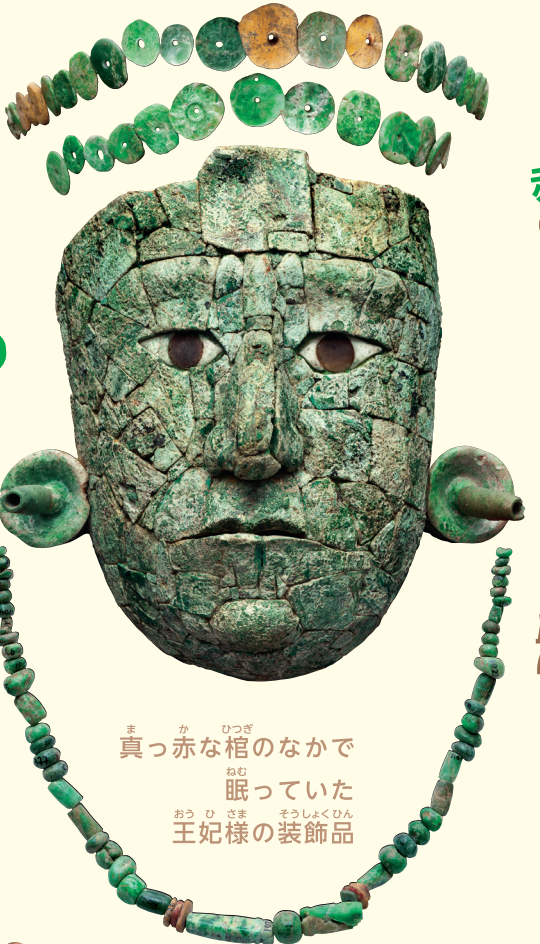
硬いボールを打ちかえすための厚い防具をまとっている

驚の戦士像



強さや勇気のシンボルである驚は戦士たちのあこがれ

赤の女王のマスク・冠・首飾り



真つ赤な棺のなかで眠っていた王妃様の装飾品



耳飾り



とく遠い国の貴重な金でつくられた神様のための耳飾り

太陽や月のうごきを大切に大都市の設計にもその影響が

テオティワカン文明

軍事力で輝いた王国 都にはめずらしい貢ぎものも

アステカ文明

都市どうして競い合い戦争や交易のために知識を磨いた

マヤ文明